

軟式野球実施要項

1 日時・会場

令和4年8月11日（木・祝）真備総合公園 倉敷市真備町箭田2208-1
予備日 9月19日（月・祝）中山運動公園野球場 倉敷市児島小川町2831
※ただし、参加チーム数により日程の増減あり。

2 チーム編成

監督1名。選手20名以内を岡山県内に居住するもので編成する。なお、コーチ、マネージャー、スコアラー、トレーナー等（有資格者）を1名ずつ別途に加えることができる。主将は選手とする。また、監督、コーチ、マネージャー、スコアラー、トレーナー等（有資格者）も選手を兼ねることができる。選手として兼ねる場合は、選手数はそれも含めて20名以内とする。

3 参加資格

- (1) 本大会の参加資格は下記の通りとする。但し監督、コーチ、マネージャーはこの限りではない。
 - ① 1980(昭和55)年4月2日から2007(平成19年)4月1日までに出生した勤労青年・大学生
 - ② 原則、2021(令和3)年5月1日からひきつづき岡山県内に居住、または在勤・在学するもの。
 - ③ 全日制高等学校の生徒は参加対象としない。
 - ④ 定時制または通信制高等学校、高等専門学校、各種学校の生徒は一般青年として参加できる。
- (2) 参加資格にオーバーエイジ枠（以下OA(1980(昭和55)年4月1日より前に出生した者の参加を一部認める)）を設ける。OAが参加する場合は登録選手のうち5名以内とする。
- (3) 医師の健康診断を受け、健康であることが証明された者。
- (4) 国内外の職業競技者（演技者・技術者）としての活動実績を有する者は本大会に参加できない。
- (5) 全日本大学軟式野球協会に加盟する者は本大会に参加できない。
- (6) 不正選手が参加していることが相手チーム、大会本部、審判いずれかによって発見されたときは、当該チーム全体を失格とする。
 - (7) 試合中に発見されたときは、その試合を没収試合とする。
 - (8) 試合後に発見されたときは、勝っていた場合も次の試合に進めない。
 - (9) いずれの場合も前の試合結果には及ばない。

4 競技方法

- (1) (公財) 全日本軟式野球連盟現行規則に準ずる。（特別事項は監督者会議で決める）
- (2) 組み合わせは、組み合わせ抽選会にて決定する。
- (3) トーナメント戦またはリーグ戦によって行い、3位以下の決定戦は行わない。ベンチは、組み

合わせ番号の若い方を1塁側として、先攻・後攻はジャンケンで決める。

- (4) 試合は7イニングとし、時間は1時間45分とする。延長戦は原則として行わず、7回終了時において同点の場合は特別方式を最長2イニングまで行い、それでも同点の場合は抽選によって勝敗を決定する。ただし、決勝戦は7イニングを行い同点の場合は、延長戦は9回までとし、なお同点の場合は主催者の判断で特別方式を用いる場合もある。特別方式では継続打順とし、前回の最終打者を1塁走者、2塁3塁の走者は順次前の打者とする。すなわち無死1、2塁の状態から試合を行い、得点の多いチームを勝ちとする。

<時間制限の解釈について> (6回表が終了して先攻チームが1点をリードしている場合)

・6回裏が始まる時に1時間45分を過ぎていて、攻撃が始まり2点が入った場合はその時点で終了。

・6回裏が始まる時に1時間45分以前に攻撃が始まって2点を入れても制限時間内に攻撃が始まったという理由で試合終了にはならない(作為的なタイムを防ぐため)。

但し、得点が入らないまま制限時間を過ぎたらその回で終了となる。

- (5) 得点差によるコールドゲームは、5回以降7点差とする。
- (6) 試合前のフィールドイングは両チーム各5分間とするが、試合進行の都合により省略することがある。
- (7) メンバー表の提出は、第1試合のチームは試合当日の開始30分前、第2試合以降のチームは前試合4回終了時に本部に3部提出すること。
- (8) 使用球は公認M号(ケンコー)を本部で用意する。その他の備品については各チームで用意すること。ストレートパンツも着用可能とする。
- (9) ユニフォーム(帽子、ストッキング含む)はチーム全員同色同型とし、スパイクを使用すること。
- (10) 背番号はプログラムに登録された0番から99番までとし、監督30番、主将10番とする。
- (11) 金属バット、ハイコンバット及び捕手マスクは、連盟公認(J・S・B・B)のマークの入ったものを使用すること。
- (12) 打者、次打者、走者及びベースコーチは、S・Gマークのついた連盟公認(J・S・B・B)ヘルメットを着用すること。捕手は、プロテクター、レガース、マスク(スロートガード付)、捕手用ヘルメット、ファールカップを着用すること。
- (13) 審判員は公認審判員があたるが、決勝以外は主審のみとする。塁審は各出場チームより協力してもらおう。審判に対する抗議は受け付けない。ただし、質疑については監督からのみ受け付ける。
- (14) 雨天の場合は予備日に行うものとし、別途定める。予備日も雨天の場合、抽選により代表を決定する。また、試合開始後雨天により審判の指示で試合中止となった場合、5回を経過していれば、試合を成立したとする。経過していなければ順延とする。

5 その他

基準要項、体育の部基準要項に定めるところによる。